

スタートアップ助成、ジャンプアップ助成実績報告書

別紙ー1 スタートアップ助成

第4号様式（第11条関係）

（一面）

平成25年 3月 8日

（宛先）

大田区長

団体名：大田・品川まちなみめぐりガイドの会

代表者氏名：堀江信之

団体住所：大田区大森中3-17-3

電話番号：03（3761）4532

地域力応援基金助成金助成事業実績報告書

（スタートアップ助成）

地域力応援基金助成金交付要綱第11条の規定により、下記のとおり助成事業の報告をします。

1 実施体制

（あなたの団体の助成事業メンバーを①にご記入ください。）

（この助成事業で連携・協働した団体がある場合は、②に団体名とその関わり方・役割をご記入ください。）

① 助成事業メンバー	氏名	年齢	団体での役職・資格等	助成事業での役割
	横澤 晃作	60	世話人	このプロジェクトの統括責任者
	任田 寿子	50	世話人	Aグループリーダー メインガイド
	在間 江津	40	世話人	Bグループリーダー メインガイド
	堀江 信之	70	世話人代表	プロジェクトの推進 全般補佐
	上野 茂	60	世話人副代表	プロジェクトの推進 全般補佐
	青木 伸子	60	世話人 会計	グループリーダーの会計補佐
	古海 信雄	60	世話人 連絡・記録	連絡 メインガイド
	その他全会員が この事業に参加 した			メインガイドまたはサブガイドを 務めた。
	連携・協働相手の ② 助成事業の	団体名・氏名	助成事業での関わり方・役割	
東京国際空港ターミナル(株)		国際線ターミナル内でのガイド活動、集客・PR活動の認可協力		
大田区産業経済部観光課		観光イベント等で協力、特に「梅ちゃん先生」関連では密に協力		
大田観光協会		集客PR・申込受付、斡旋紹介、情報提供等の支援		
しながわ観光協会		情報提供・便宜供与等で連携 イベントの共同実施		
POE		外国人観光客への対応で連携（ホームステイ等の斡旋団体）		
大田区まち歩きネットワークの会		大田区内の観光需要に対する相互支援		
呑川の会	さくらウォークで石川台商店街・大岡山商店街と連携			

第4号様式（第11条関係）

（二面）

2 実施した事業の内容（※書ききれない場合は別紙でご提出ください。）

新規・継続		（※新規、継続のどちらかに○を付けてください。）			
事業名		東京空港国際線旅客ターミナルのガイドを行い、大田区内への観光を勧誘する事業			
実績	日付（又は期間） （申請年度4月～翌年2月まで）	実施事業	実施場所	対象者 参加人数	
		定期ガイド	羽田空港国際線ターミナルガイド ガイドは毎月の学習・連絡会に出席 ・実施数日前に下見・打合せ。 ・当日は11時・14時の2回実施 ・1時間前スタッフ集合、当日募集のチラシ配布 30分前より受付開始 ・1回の所要時間は約1時間。 ガイド料は無料 ・ガイド・スタッフは10時集合、チラシ配布、受付、資料配布と回収、連絡待機、大田観光パンフ・記念品の配布等々	羽田空港 国際線ターミナル 学習会や 連絡会の 会場は不定	58
	4月29日	50			
	5月26日	59			
	6月24日	54			
	7月28日	40			
	8月26日	64			
	9月29日	41			
	10月28日	50			
	11月24日	53			
	12月23日	47			
	1月26日	51			
	2月24日	計567			
	不定期ガイド （団体単位のガイド）	志摩市立文岡中学校修学旅行生 東京都産業労働局観光部振興課 東日本大震災 被災者支援 川越市 児童相談所 鎌倉わくわく子ども会 JTBパブリッシング(株) 品川観光協会 上尾市社会福祉協議会（車椅子） 横浜市鶴見区 鶴YOU会 大田区郷土博物館 友の会 町田市立鶴川第三小学校 4年生 上尾市都市計画課			37 8 40 20 32 30 273 28 44 22 101 28 計663 合計1230
	4月25日				
	6月18日				
	8月6日				
	8月28日				
	9月24日				
	9月27日				
	10月8日				
	10月23日				
	12月20日				
	1月21日				
	1月30日				
	2月5日				

3 申請事業を変更して実施した場合の変更点

（変更届の承認を受け、申請事業を変更して実施した場合、変更前と変更後の内容をわかりやすくご記入ください。）

変更内容
申請事業のとおり実施
変更理由

4 事業実施後の振り返り（※書ききれない場合は別紙でご提出ください。）

事業実施により、どのような効果がありましたか。
<ul style="list-style-type: none">・羽田空港でのガイド活動はマスコミにも注目され、NHK TV&ラジオ、TBSTV、おおたTV等から取材され、大田観光をPRするチャンスを得た。・ガイドの技能向上に有効であった。特定場所でのガイドを続けることで、各人のノウハウを共有できる。また新入会員のガイドデビューの場所としても好適であり、戦力アップにつながった。
他団体との連携・協働により効果があがったことはありますか。
<ul style="list-style-type: none">・大田観光協会やしながわ観光協会からの協力を頂き、多くの観光客をガイドすることが出来た。・東京国際空港ターミナル(株)からは半纏やノベルティの提供、FaceBookdでの紹介、サイン広告（ターミナル内の各所に設置された出発便等の情報を告知するディスプレイ）での集客協力を頂いた。・大田区まち歩きネットワークの会 情報を共有できたため多くの団体との交流を深めることが出来た。
事業実施により感じた、地域の課題や区民のニーズはありますか。
<ul style="list-style-type: none">・空港は単なる旅行者のための交通施設ではなく、一大観光施設として見直されつつある。・羽田空港は国や東京都の玄関口であるばかりでなく、大田区の玄関口でもある。・以上のような観点から大田区の観光振興を見ると空港から区内へ観光客を誘導する、仕掛け（ハード&ソフト）がほとんど見受けられない。 某私鉄からも「羽田から都心へ一直線」で大田区は全く無視されている。
事業実施における反省点や、改善点はありますか。
<ul style="list-style-type: none">・申請予算と実支出とに大きな乖離があった。慎重な予算の積算を行うべきであった。 例：空港への交通費は意外と高額になったが、学習会等の交通費は予算計上しなかったため、助成事業に計上されない会員負担が約8万円強になった。・「スタートアップ助成」の趣旨を生かした助成金の交付制度にしてもらいたい。 発足後間もない団体にはどこも運用資金がなく交付金が下りるまでは、会員個人の立替えになると考えるが、その額が大きいこと、また立替え期間が長すぎるのが問題である。

第4号様式（第11条関係）

（四面）

5 助成金の対象経費（※書ききれない場合は別紙でご提出ください。）

（費目は地域力応援基金助成金（スタートアップ助成）交付要綱第7条で規定する項目からお選びください。）

（予算額は、交付申請書に記載のとおりご記入ください。）

収入	費目	予算額 (円)	決算額 (円)	内訳 例：①内容@〇円×〇人=〇円
	地域力応援基金助成金	470,000	470,000	助成金交付決定額を ご記入ください。
	団体負担金	92,000	107,000 109,976	
	参加費・資料代等	30,000	15,000	
	その他の収入			
	収入総額	592,000	592,000	(※事業総額と同額になるようご記入ください。)

支出	助成対象内経費 (助成の対象になる事業費の内訳)	費目	具体的内容	予算額 (円)	決算額 (円)	内訳 (※品名・単価・数量など) 例：①品名@〇円×〇個=〇円 ②品名@〇円×〇個=〇円
		報償費	講師謝礼	48,000	48,000	16000円/ 2H×3回
		旅費	交通費	71,000	86,840	定期ガイド交通費 11ヵ月分
		①消耗品	ジャンパー	96,000	95,130	スタッフジャンパー 35着
		②消耗品	ラミネーター 等	19,000	10,800	ラミネーター1台
		③消耗品	プリンター インキ	21,000	27,578	6個
		④消耗品	アンケート	13,200	4,188	鉛筆、コピー用紙 他
		⑤消耗品	ガイド用品	45,800	72,670	のぼり旗・手端、各5本 34,755円 イヤフォン電池代 22,302円
		⑥消耗品	コピー他	32,000	20,180	コピー・写真用紙 コピー代
		委託費	チラシ等作成	231,000	223,690	ポケットガイド作成費170,000円 印刷費 53,860円
		使用料、賃貸料	使用料、賃貸料	15,000	5,900	会議室 3回使用
助成対象内経費 小計				592,000	592,000	
助成対象外経費					2,976	
事業総額				592,000	592,000	(※収入総額と同額になるようご記入ください。)

（五面）

6 【団体について】団体全体の活動が、助成金を受ける前と後で変化した点等

（この助成金を受けて、今までの団体の活動がどう変化したのか、良かった点や気づいた点などをご記入ください。）

（※書ききれない場合は別紙でご提出ください。）

- ・国際線ターミナルビルでの月一回の定期的なガイド活動は、ガイド経験のない会員のトレーニングの場として有効に活用できた。OJT→サブガイドで経験を重ね、そのうちメインガイドとしてデビューする自信を涵養できた。羽田空港ガイドをとおして、多くの会員を育てることが出来たと思う。

一般会員にはガイド技能の向上、ガイド未経験な新人会員には育成場所として今後も活用してゆきたい。
- ・羽田空港には全国各地から様々な人たちが観光に訪れる。定期ガイドで当日募集のガイド参加者はこのような人たちが多く、私たちが意図した全国に大田区の観光をPRする場としては最適と考える。

私たちの活動はマスコミなどにも取り上げられ多少の知名度向上には役立ったと思う。

ただ当然ながら、この大きな目標に対しては私たちの会だけではあまりにも微力であることも事実。
- ・ポケットガイドを参加者に配布したところ好評であった。このシリーズを大田区各地の観光スポットについて作成し、観光需要増大に役立てたい。
- ・前述したが、私たちの会は成立後間もない団体であるため、会には繰越金などの保有資金は微々たるものしかない。

助成金を受け申請書に見合う規模の活動を遂行するには、会員個人がかなりの金額を長期間立替えて、活動を継続せねばならない。この点に関し一部会員から助成金辞退の意見が出て紛糾した。

スタートアップを受ける団体は皆このような事情が生ずるのではないかと危惧している。
- ・JALやANAの整備工場見学、その他未開放の空港施設への観光客の関心は非常に高い。

今後はこれらの見学を組み込んだガイドの企画が出来ると努力したい
- ・昨年朝のNHKTVドラマ「梅ちゃん先生」の放映を機に、蒲田の観光振興のキャンペーンが盛り上がり

ったが、そのチャンスを十分生かし切れなかった。羽田・蒲田を結ぶイベント企画を積極的に行い
将来の布石となるようなものを残したかった。

例：ビジネス客が蒲田周辺で宿泊する需要を掘り起こすために、蒲田の飲み屋街をベースにした

キャンペーンとか、黒湯銭湯とのタイアップ（蒲田駅の交通利便性を強調し、宿泊基地とする）。

7 【団体について】助成終了後の活動予定（※継続申請する場合は、未記入で構いません。）

（※書ききれない場合は別紙でご提出ください。）

継続助成申請中

8 添付書類（※寄付をいただいた方への貴重な資料として使用いたします。）

- ・事業の様子を撮影した写真
- ・事業で作成したチラシ、パンフレット、成果物等
- ・事業参加者に対して実施したアンケート結果等

	氏名	年代	団体での役職	助成事業での役割
① 団体内の助成事業メンバー	芝崎 希久夫	70	教育・研修チームリーダー	→ 申込対応、現地ガイド、受付、イヤホン受渡・回収、旗持ち、参加者誘導、安全管理、荷物受渡し、写真撮影、参加費徴収、会場準備・撤収、おもてなし準備・対応（浴衣着付け体験・大道芸演技体験・けん玉・折り紙・小箱づくり・お手玉・盆踊り・露店体験(金魚すくい・輪投げ・缶あて・射的・飴細工)福笑い・紙風船・輪投げ・ミニ書道体験、茶道体験)等々を全6回につきそれぞれが分担。
	船木 宏祐	60	品川部会チームリーダー	
	伴野 正弘	60	事務チームメンバー	
	尾崎 正明	60	事務チームメンバー	
	小山 一成	60	教育・研修チームメンバー	
	高岡 修平	40		
	畠山 敏一	60	広報チームメンバー	
	大石 紀子	60		
	塩森 健弘	70		
	林 幸子	60		
	計良 見佐子	60		
	菱沼 公平	60		
	上垣 静子	60		
	右田 俊郎	60	教育・研修チームメンバー	
	飯島 範夫	60		
	市村 久子	60	事務チームメンバー	
	櫻井 国太郎	60		
	安岡 達郎	60		
	清崎 昌枝	60		
	小金澤 民雄	60		
	田島 和子	50		
中條 潤子	60			
中野 真由美	50	広報チームメンバー		
渡辺 悦子	50			
横内 明	50			
降屋 敬子	60			
横田 久枝	60			

	団体名（氏名）	助成事業での関わり方・役割	新連携は○
	② 助成事業の連携・協働相手	紫織会	第1弾での浴衣のリース及び着付け
キャラバン喫茶去		第5弾・6弾での茶道体験	○
千束八幡神宮		お祓い祈願、お囃子・神楽実演	○
東京国際空港ターミナルビル(株)		場所・施設(部屋、机、椅子等)の提供	○
一般社団法人大田観光協会		広報関係、東京国際空港ターミナルビルとの折衝	
東京国際空港ビルディング		羽田空港での広場、会議室、机・椅子の借用	○
大田区地域力推進課		広報関係(チラシの配布、データ送信)、チラシの英訳	
大田区観光課		広報関係(チラシの配布、データ送信)	
大田区多文化共生推進課		広報関係(チラシの配布、データ送信)	

2 実施した事業の内容 *書ききれない場合は別紙でご提出ください。

新規・継続 事業名	(※ 新規 継続のどちらかに○を付けてください。) 大田の観光の魅力発信、国際交流おもてなし観光まちづくり		
日付（又は期間） <small>（実施年度4月～翌年3月末）</small>	実施概要	実施場所	対象者 参加人数
1. 平成27年8月1日	『羽田国際空港見学と日本文化体験』 羽田国際空港を1階から5階、展望デッキまでを案内した後、5階お祭り広場で、浴衣をきていただき羽田日本橋等で写真撮影して、折り紙やけん玉、お手玉と一緒に楽しんでもらった。その後、大道芸(ガマの油売り、南京玉すだれ)を楽しんでもらい、全員で盆踊りに参加してもらい大きな輪になって一緒に踊りました。	羽田国際空港ターミナルビル 1階から5階、展望デッキ。 5階お祭り広場。	合計 38名 （男性13名、女性25名） 中国 15名、 ネパール 5名 フィリッピン 4名 ミャンマー 4名 米国 3名 日本 3名 韓国 2名 マレーシャ 1名
2. 平成27年9月6日	『洗足池の秋祭り ～日本の文化をちょこっと体験～』 ボートハウス屋上にて洗足池を眺めながら洗足池全体の説明、図書館横の径を通って妙福寺で「袈裟懸けの松」「日蓮聖人550年遠忌石塔」「馬頭観音供養塔」「本堂」の説明、勝海舟の墓前で「勝海舟」「西郷隆盛留魂詩碑」を説明、水生花園を通過して「弁天島」「池月像」をガイドし、千束八幡神社境内に入る。そこで宮司にお祓いをしてもらい、お囃子・神楽を観覧、その後、金魚すくい・射的・缶あて・輪投げを体験してもらい、最後に飴細工の作成を見学、楽しんでもらった。	洗足池周辺。 千束八幡神社境内。ボートハウス。	合計 22名 （男性10名、女性22名） 中国 5名、 マレーシャ 5名、 米国 4名、 台湾 1名、 ネパール 1名、 シンガポール 1名 英国 1名 ニュージーランド 1名 バングラデッシュ 1名

日付（又は期間） (実施年度4月～翌年3月末)	実施概要	実施場所	対象者 参加人数
3. 平成 27 年 10 月 3 日	<p>『羽田散歩と日本文化体験』</p> <p>大田区主催の空の日フェスティバルの一環としてガイドツアーを実施。</p> <p>会場～穴森橋～稲荷橋～天空橋～弁天橋～羽田の大鳥居～五十間鼻～藤崎稲荷～玉の湯(銭湯)～駅前商店街～穴守稲荷神社～会場 を順に案内。</p> <p>その後、会場にて千代紙による小箱作り、お手玉、けん玉、折り紙をスタッフとともに楽しんでいただいた。</p>	<p>羽田空港隣接地</p> <p>羽田4丁目、5丁目、6丁目</p> <p>周辺地域</p>	<p>合計 47名</p> <p>(男性 23名 女性 24名)</p> <p>中国 10名</p> <p>カナダ 3名</p> <p>ネパール 2名</p> <p>アメリカ 2名</p> <p>香港 2名</p> <p>台湾 1名</p> <p>ミャンマー 1名</p> <p>フィリピン 1名</p> <p>日本 25名</p>
4. 平成 27 年 11 月 28 日	<p>『オープンファクトリー町工場見学・体験』</p> <p>武蔵新田駅～商店街(北嶋屋・豆腐みしまや)～新田神社～室賀シボリ(工場見学・シボリ加工体験)～安久工機～富士ダイス(ショールーム説明・見学)～工場長屋～稲葉製作所～くりらぼ多摩川工房。</p> <p>スタート～室賀シボリ～富士ダイス～くりらぼ多摩川工房までの間で歩きながら、</p> <p>「大田区の町工場の歴史、概要、特徴、この地区の町工場」等を簡単に説明した。</p>	<p>下丸子・矢口地区、室賀シボリ(矢口)、富士ダイス(下丸子)</p> <p>くりらぼ多摩川</p>	<p>合計 26名</p> <p>(男性 15名 女性 11名)</p> <p>中国 8名</p> <p>インドネシア 3名</p> <p>カナダ 2名</p> <p>インド 2名</p> <p>韓国 1名</p> <p>タイ 1名</p> <p>米国 1名</p> <p>ミャンマー 1名</p> <p>台湾 1名</p> <p>イラン 1名</p> <p>マダガスカル 1名</p> <p>ネパール 1名</p> <p>モンゴル 1名</p> <p>日本 2名</p>

日付（又は期間） (実施年度4月～翌年3月末)	実施概要	実施場所	対象者 参加人数
5. 平成 28 年 1 月 23 日	『羽田国際空港見学と日本文化体験』 羽田国際空港を英語ガイド、中国語ガイド、日本語ガイドの3班に分かれ、1階から5階、展望デッキまでを案内した後、5階お祭り広場で、福笑い・けん玉・折り紙・風船・輪投げなどの昔あそびを楽しみ、その後茶道を体験してもらった。	羽田空港国際線ターミナルビル 1階から5階、展望デッキ、 5階お祭り広場。	合計 22名 男性 11名 女性 11名 中国 10名 ミャンマー 3名 ネパール 2名 インド 1名 インドネシア 1名 イラン 1名 スリランカ 1名 台湾 1名 日本 2名
6. 平成 28 年 2 月 28 日	『池上本門寺散策と梅園で茶道体験』 池上本門寺を、総門→此経難事坂→仁王門→五重塔→大堂→霊宝堂→経堂→多宝塔→大坊本行寺とめぐり案内し、池上梅園に入って、池上梅園で梅を観賞、茶室に入って茶道を体験、和室でくつろぎ、福笑い、折り紙の昔遊びを楽しみ、更にミニ書道を体験してもらった。	池上本門寺 池上梅園	合計 41名 男性 27名 女性 14名 中国 7名 ネパール 6名 ミャンマー 6名 インドネシア 3名 ベトナム 3名 マレーシア 2名 タイ 2名 カザフスタン 2名 イラン 1名 メキシコ 1名 台湾 1名 韓国 1名 ハンガリー 1名 シンガポール 1名 スリランカ 1名 アメリカ 1名 日本 2名

3 申請事業を変更して実施した場合の変更点

* 変更届の承認を受け、申請事業を変更して実施した場合、変更前と変更後の内容をわかりやすくご記入ください。

変更内容

1. 全体スケジュールの変更とタイトルの変更

- ① 「羽田まぢめぐり・橋めぐり」 → 「羽田散歩と日本文化体験」

6月 → 10月3日

大田区主催の「空の日」フェスティバルに合わせ実施した方が集客しやすいと考えた。

- ② 「羽田空港見学と大道芸(南京玉すだれ、ガマの油)見学体験」 → 「羽田空港見学と日本文化体験」

9月 → 8月1日

おもてなしが「大道芸見学・体験」だけでは、集客にやや不安があったため、ユカタを着て盆踊りの体験もしてもらうこととし、夏に実施。

- ③ 「池上本門寺見学とユカタを着て茶室で茶道体験」 → 「池上本門寺散策と梅園で茶道体験」

8月 → 2月28日

当初、池上本門寺の会館の茶室を借用して茶道体験を考えていたが、池上本門寺の都合で日程が定まらず、また茶室が借用できなかったため、池上会館から梅園の茶室に変更し、梅園なので梅見の時期に変更、また冬なのでユカタは諦めた。

- ④ 「洗足池周辺まち歩きツアー～勝海舟と洗足池～」 → 「洗足池の秋祭り」

12月 → 9月6日

このタイトルの内容だけでは、外国人の集客に不安を感じ、また目玉となる「ちょこっとおもてなし」が無いとため、洗足池の「秋祭り」の体験をおもてなしとして、千束八幡神社の祭礼時期に合わせた。

- ⑤ 「羽田空港見学とユカタを着て茶道体験&「新日本橋」で写真撮影」 → 「羽田空港見学と日本文化体験」

7月 → 1月23日

空港関係は②で実施したので、間において他の4件のツアー実施時期との関係から、また東京国際空港ビルディングから場所を借用する関係から、1月に実施することとした。

冬季なのでユカタの着用はやめることとし、正月なので正月に相応しい昔遊びを追加した。

- ⑥ 「歴史あり、グルメあり、町工場あり! 下丸子・矢口ぐるぐるツアー」 → 「オープンファクトリー町工場見学と加工体験」

11月 → 11月28日

11月28日の下丸子・矢口エリアのオープンファクトリーに合わせ、まぢめぐりと町工場3つの見学と加工体験にしぼって実施した方が外国人の集客には有利であると考え、タイトル及び内容を変更した。

2. おもてなしの内容が1部未確定だったので以下の通り追加決定した。

- ①8月1日「羽田空港見学と日本文化体験」

浴衣を着て写真撮影と盆踊り体験、けん玉・折り紙・お手玉の昔遊び体験

②9月6日「洗足池の秋祭り」

千束八幡神社のお祭りに合わせ、神楽・囃子の観賞、露店(金魚すくい、射的、輪投げ、飴細工等)の体験

③10月3日「羽田散歩と日本文化体験」

千代紙による小箱づくり体験、お手玉・けん玉・折り紙等の昔遊び体験

④1月23日「羽田空港見学と日本文化体験」

福笑い・お手玉・折り紙・けん玉・輪投げ・風船等の昔遊び体験

⑤2月28日「池上本門寺散策と梅園で茶道体験」

冬季だったので浴衣を着るのは中止、ミニ書道体験、けん玉・折り紙・福笑い等の昔遊び体験

3. ガイド言語を英語、中国語としていたが、日本語を追加した。

4. 中国語のガイドについては、当初全てのツアーに実施する予定であったが、1部のツアー(10月3日と1月23日)につき実施した。

変更理由

1. 2. については、申請時点では「“ちょこつと” おもてなし」の詳細内容が時間的に間に合わなかったため申請後時期の見直しと内容を詳細検討決定した。

3. については、日本語学校の生徒や留学生から日本語でのガイドをして欲しいとの要請があったので、その外国人たちを対象に日本語のガイド言語を追加した。

4. 中国語を話せるガイドが当会に少なく、また、観光大使に依頼するも日程が合わず、外部のプロの方に依頼すると金額も嵩むし、観光について精通していないので十分なおもてなしが出来ないと判断、外国語ボランティア養成講座修了生に、観光案内の勉強を一緒にしていただき、実施した。

4 事業実施による成果

* 申請書で記載した地域等での課題について、どのような成果があったのか指定する枠内にご記入ください。

1. 別紙アンケート結果によると、実施した6回のツアーのまとめとして、

参加者196名のアンケート結果

①ツアー全体の感想について。

「大変満足」が全体の73%、「ほぼ満足」が26.4%、「普通」が0.6%だったので、殆どの参加者に満足いただいた。

②ガイドの説明・案内について。

「大変満足」が全体の68.3%、「ほぼ満足」が30.6%、「普通」が0.1%だったので、私たちのガイドについても、殆どの参加者に満足いただいた。

③「日本文化体験」について。

「大変満足」が全体の76.8%、「ほぼ満足」が22.5%、「普通」が0.7%だったので、体験していただいた「ちょこつとおもてなし」は、大成功であった。

④日本の文化としてどんなことに興味があるかについて。

特に「日本の食文化」「日本人の生活の様子」「伝統的なこと」に興味を惹かれることを知った。

⑤興味のある場所について。

アンケートにあげた場所については、殆どすべてに興味があったが、中でも「神社・お寺」「古い歴史のある場所」「銭湯」「梅、桜、紅葉があるところ」に興味があるようで、その意味からも今回のツアー場所は間違っていなかった。

⑥外国人旅行者におとずれてもらうために、希望すること・必要だとの思うことについて。特に「多言語対応の観光案内書が多くあること」「Wi-Fi 等ツアー通信環境の整備」「観光WEB サイト内容の充実」「体験型観光の充実」が要望されたが、今回の事業実施に当たっても外国人観光客を誘致する上で是非必要なことだと痛感した。

2. 6 回のツアーで実に 24 ヶ国もの多数の参加者があり、国別内訳としては中国が 55 人で最も多く、次いでネパール 17 人、ミャンマー 14 人、アメリカ 11 人、マレーシア 8 人、カナダ・台湾・フィリピンが 5 人、韓国・インドネシアが 4 人、イラン・ベトナム・タイ・インドが 3 人、シンガポール・スリランカ・カザフスタン・香港が 2 人、メキシコ・モンゴル・ハンガリー・ニュージーランド・イギリス・バングラデッシュがそれぞれ 1 人ずつとなっており、多国籍の方々に興味をもっていただいた。

3. 外国人のツアーへの参加呼びかけについて。

チラシの配布よりも、データの観光部署への送信や、学校への送信がより有効であることが分かった。また日本語学校へのアプローチ、学校の留学センターへのアプローチは集客に有効であることも分かった。

4. 参加された外国人に対し、大田区の観光 PR を直接口頭で、或いはチラシ、パンフレットの手渡しができ、友人、知人、自国への PR をしてもらうことができた。

5. 外国人をツアーに参加してもらうには、単なるまちあるきガイドではなく、少しでも何等かの体験ができる「おもてなし」がないと、よほどの魅力ある観光ガイドがない限りは、集客にはなかなかつながらないことが分かった。

6. 今回の事業を実施するに当たり、当会の全メンバー 47 人の内 42 人がガイド等、「おもてなし」の何らかの役割を担い、6 回のツアーで延 143 人が関わった。全員の一致団結でパワーとエネルギーを発揮してこの事業が推進でき、当会のモチベーションが上がり、一体感が醸成されたことは、今後のツアーガイドに大きな財産となった。

5 他の団体との連携・協働による効果

* 「1 実施体制」で記載した連携・協働による効果について、指定する枠内にご記入ください。

1. 外国人の集客に不安があったが、地域力推進課区民協働、観光課、多文化共生推進課の方々のアドバイス、協力により効果的に推進することができた。同時に集客ルートを今後のツアーの参考にすることができた。また、観光協会の支援も励ましになった。
2. 「ちょこっとおもてなし」で、連携・協働してくださった団体には、この地域力応援基金助成事業の趣旨を理解していただいて、経費面でも、実施面でも積極的に協力していただき、当会と一体となって、喜んでこの事業の成功に力を貸して下さり、大いに助かりました。
3. ユカタを着て写真撮影や盆踊りをした結果、参加した生徒の日本語学校の先生から、学校のイベントとして、生徒にユカタ体験をさせたいとのお声がかかり、連携・協働した「紫織会」を紹介し、実施してもらった。
4. 茶道体験をしていただいた「キャラバン喫茶去」の方々も大好評であったので、今後も機会があればお願いすることとした。

6 申請事業支出決算 * 欄内には書ききれない場合は複数枚でご提出ください。

* 領収書にはNo.を記入の上、費目ごとに分かりやすく分類し、別紙にてご提出ください。

* 変更届による予算内訳の変更があった場合、変更後の予算でご記入ください。

* 費目は地域力応援基金助成金（ステップアップ助成・ジャンプアップ助成）交付要綱第7条で規定する項目からお選びください。

※エクセルバージョンに記載ください。

団体名：	大田・品川まちめぐりガイドの会	単位：（円）
------	-----------------	--------

■収入の部

区分	予算額（円）	収入額（円）	差引
団体負担金	12,968	8,676	-4,292
参加費等	60,000	41,000	-19,000
その他の収入 受取利息	15,000	15,016	16
地域力応援基金助成金(交付決定額)	1,170,000	1,170,000	0
収入総額	1,257,968	1,234,692	-23,276

■支出の部

対象項目	具体的な内容	予算額（円）	支払額（円）	差引
報償費	講師謝礼	60,000	45,000	15,000
	ガイドアドバイス料	10,000	8,000	2,000
	外部ガイド料	0	11,000	-11,000
	その他	15,000	10,000	5,000
小計		85,000	74,000	11,000
人件費	ガイド料	168,000	172,000	-4,000
				0
小計		168,000	172,000	-4,000
旅費		16,000	24,075	-8,075
				0
小計		16,000	24,075	-8,075
消耗品費	昔遊び道具等	31,800	40,546	-8,746
	ユカタ用下駄代他	30,000	26,892	3,108
	インク・文具類代	22,024	23,954	-1,930
小計		83,824	91,392	-7,568
印刷製本費	チラシ印刷	110,000	98,570	11,430
				0
				0
				0
小計		110,000	98,570	11,430
役務費	保険・郵送料等	15,040	12,836	2,204
				0
				0

小計		15,040	12,836	2,204
委託費	露店体験等	24,000	16,700	7,300
	茶道体験	140,000	172,200	
	小物加工代他	0	14,360	
	チラシ作成版下代	0	18,000	-18,000
小計		164,000	221,260	-57,260
使用料及び賃借料	ユカタリース料	120,000	42,000	78,000
	会議室・会場使用料	44,200	26,695	17,505
	ネット申込フォーム使用料	0	11,096	-11,096
小計		164,200	79,791	84,409
備品 & その他経費	イヤホン	446,904	458,676	-11,772
	イヤホン電池(56ヶ)		1,512	
	コピー	5,000	580	4,420
				0
小計		451,904	460,768	-8,864
助成対象経費		1,257,968	1,234,692	23,276
対象外項目	内訳	支払額(円)		
助成金対象外経費				
事業総額			1,234,692	

8 助成金を受ける前と後で変化した点等

* 助成金を受けることで、団体全般の変化した点（助成事業に限らず）について、指定する枠内にご記入ください。

1. 全員でやればどんなことでもできるのだというモチベーションがあがり、各人に一層積極性がでてきて、一体感がより醸成された。
2. 外国人観光客を今後もツアーガイドしてみたいという人たちが増えた。

9 助成終了後の活動展望

* 指定する枠内にご記入ください。（継続申請する場合は、未記入で構いません。）

① 2年間の助成期間を振り返って、どのような反省点、改善点すべきがありましたか。

1. 外国人観光客をツアーガイドするには、相当のパワーとエネルギーが必要であることが分かり、また、当会には外国語の会話が出来る人が少ないため、当会で今後とも積極的に外国人観光客をツアーガイドすることは現状では人的面、資金面で無理と判断する。
2. 従って、現在「外国語観光ガイドボランティアの会」が観光協会の元に結成されつつあるので基本的には、その団体に一任することにしたい。
当会としては、その団体とコラボして実施するとか、或いは外国人の中でも日本語学校の生徒や留学生の中に、日本語でガイドして欲しいとの要請があれば、受けることとしたい。
3. 少数であるが、外国語の堪能な者もいるので、小人数の方たちからガイドして欲しいとの要請があれば、受けることとし、当会からは積極的に募集してまで外国人観光客をツアーガイドすることは原則として実施しないこととする。

② ①であげたことを、どのように今後の活動に反映させていきますか。

1. 当会としては、今回の事業実施、それも6回のツアーを実施したことにより外国人観光客をガイドするノウハウを習得することができたので、反省と改善のもとに、その経験を生かして、外国人観光客のツアーガイドの要請があった場合、人的面、予算面で可能であれば、受託することとしていきたい。
2. 外国語観光ボランティアの会の方たちに、要請があれば、大田区の魅力的な観光資源について、実務面（資料、情報の提供、日本語ガイドの実施等）で支援していきたい。

10 添付書類

- ・ 事業の様子を撮影した写真
- ・ 事業で作成したチラシ、パンフレット、成果物等
- ・ 事業参加者に対して実施したアンケート結果等